信濃川水系信濃川、大河津分水路　国管理河川の浸水想定図（１／５０規模降雨）【現況河道】1/2

1　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和５６年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川
信濃川水系大河津分水路

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・信濃川、大河津分水路
左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで
右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０
（信濃川流域の２日間の総雨量１５０ｍｍ）

（５）河道条件　現況

（６）関係市区町村　新潟市西区・西蒲区・南区、燕市、長岡市、小千谷市、弥彦村

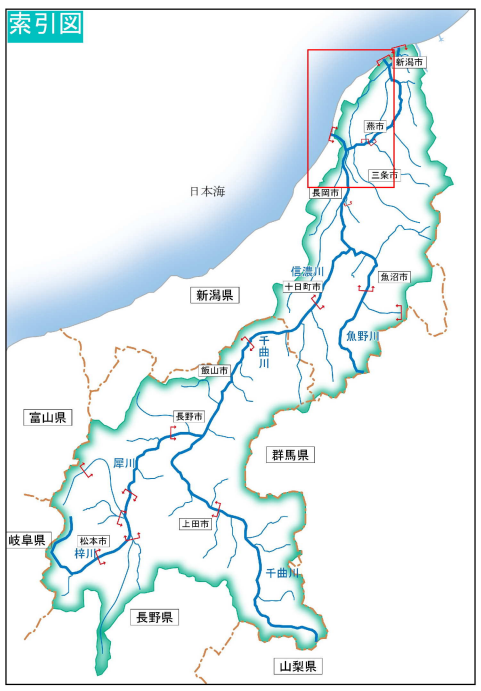
※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

位置図



索引図



凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

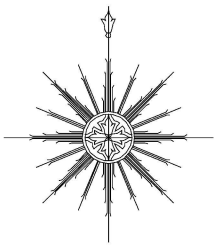
- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 市区町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1：60,000

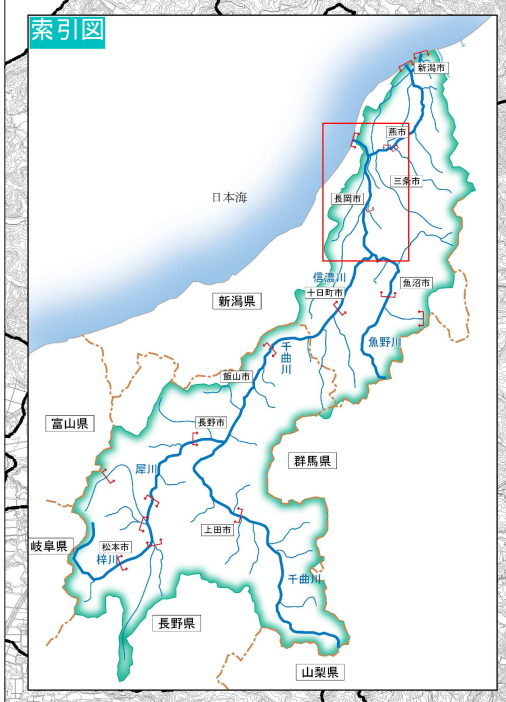
2　0　2　4　6　8km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系信濃川、大河津分水路　国管理河川の浸水想定図（１／５０規模降雨）【現況河道】2/2







凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和５６年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川
信濃川水系大河津分水路

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・信濃川、大河津分水路
左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで
右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０
（信濃川流域の２日間の総雨量１５０ｍｍ）

（５）河道条件　現況

（６）関係市区町村　新潟市西区・西蒲区・南区、燕市、長岡市、小千谷市、弥彦村

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

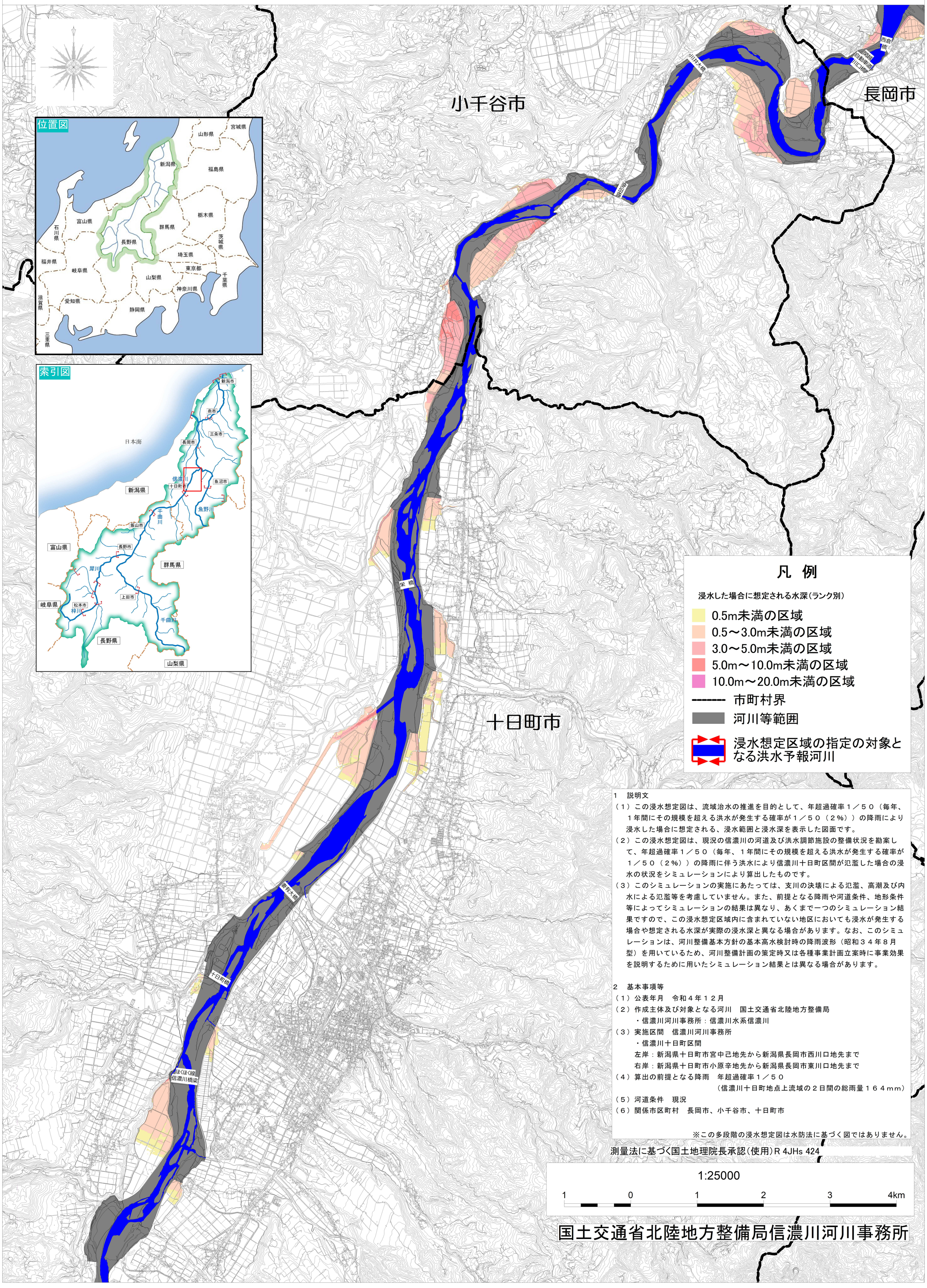
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

1:60,000

2　0　2　4　6　8km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系信濃川十日町区間　国管理河川の浸水想定図　（１／５０規模降雨）　【現況河道】1/2



凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- ------ 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の信濃川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水により信濃川十日町区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３４年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・信濃川十日町区間
左岸：新潟県十日町市宮中己地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県十日町市小原辛地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０
（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１６４ｍｍ）

（５）河道条件　現況

（６）関係市区町村　長岡市、小千谷市、十日町市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

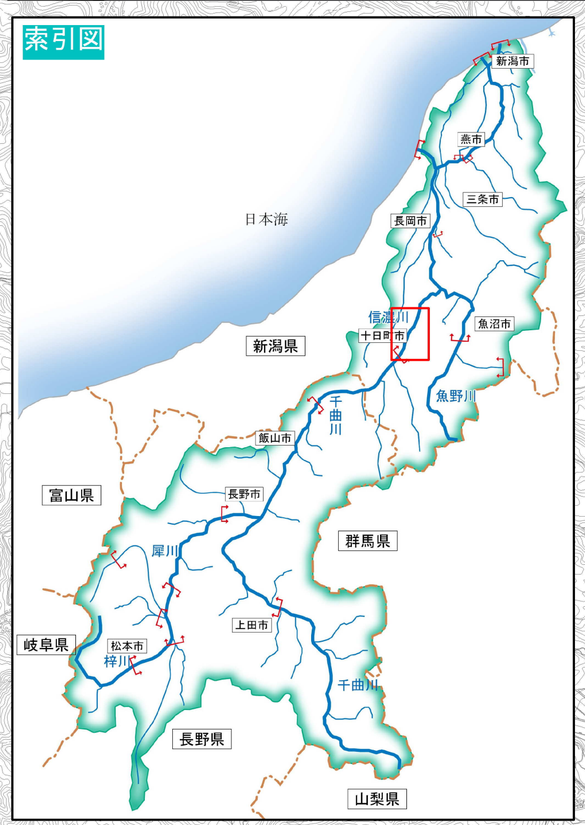
1:25000

1　0　1　2　3　4km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系信濃川十日町区間　国管理河川の浸水想定図　（１／５０規模降雨）　【現況河道】2/2





小千谷市

十日町市

栄橋

蓬向大橋

十日町橋

ほくほく線
信濃川橋梁

姿大橋

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の信濃川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水により信濃川十日町区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３４年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・信濃川十日町区間
左岸：新潟県十日町市宮中己地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県十日町市小原辛地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０
（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１６４ｍｍ）

（５）河道条件　現況

（６）関係市区町村　長岡市、小千谷市、十日町市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

1:25000

1　0　1　2　3　4km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系魚野川長岡市区間　国管理河川の浸水想定図（１／５０規模降雨）【現況河道】1/2

長岡市

魚沼市

魚沼市

南魚沼市

位置図



索引図



1　0　1　2　3　4km

1：25000

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

１　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の魚野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））の降雨に伴う洪水により魚野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３９年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

２　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系魚野川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・魚野川
左岸：新潟県南魚沼市五日町地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県南魚沼市麓地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０
（魚野川流域の２日間の総雨量２１２ｍｍ）

（５）河道条件　現況

（６）関係市区町村　長岡市、魚沼市、南魚沼市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）Ｒ４JHs 424

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

信濃川水系魚野川南魚沼市区間　国管理河川の浸水想定図（１／５０規模降雨）【現況河道】2/2





魚沼市

南魚沼市

南魚沼市

南魚沼市

1　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の魚野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水により魚野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３９年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系魚野川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・魚野川
左岸：新潟県南魚沼市五日町地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県南魚沼市麗地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０
（魚野川流域の２日間の総雨量２１２ｍｍ）

（５）河道条件　現況

（６）関係市区町村　長岡市、魚沼市、南魚沼市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

1：25000

1　0　1　2　3　4km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所